



長崎縣道路改良計畫に

現はれた改良の效果

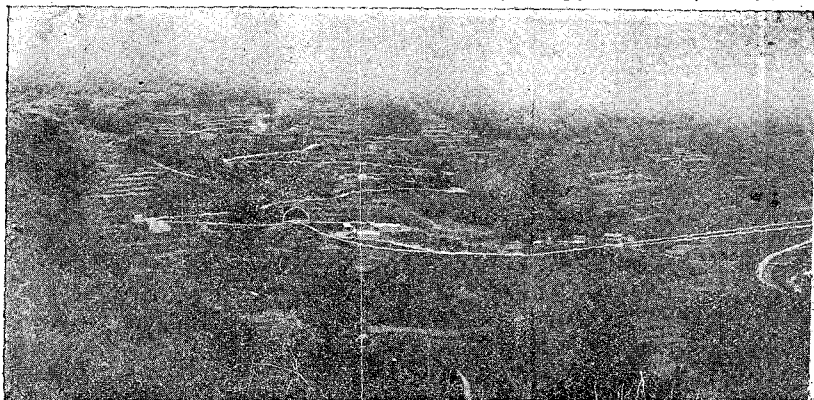
内務技師 T 1 生

道路改良の效果は、政治家や學者や技術家に依つて、異口同音に述べらるゝ處であるが、普通の世人は愈工事が完成して其の利益が眼に見へなければ成る程と感ぜない連中が多いのは甚だ遺憾である、茲に紹介せむとするのは長崎縣に於て目下工事を施行しつゝある二十五號國道の改修で、上圖の白線が即ち改修計畫路線である下に觀ゆる、現在道路と比較するときは其の效果の顯著なことは一瞥して人を驚かしむるものがある、其の工事の概要と效果を左に摘記して見やう。

此工事は長崎縣西彼杵郡矢上村から長崎市に至る、羊腸たる坂路を改修するのであつて工事完成の曉に於ては、現在鐵道を唯一の陸上機關として居る、長崎市に新生面を齎すものであつて、その經濟上交通上の激變は實に驚くべきものがあらう、今新舊兩線を比較すると

	現 在 線	改 修 線
距 離	二里三十三丁	二里火丁
最高通過標高	七七〇尺	四六五尺

線 路 修 改 と 在 現



報
介

屈曲最小平徑

三圓

四〇間

平均勾配

1/16

1/31

最急勾配

1/10

1/15

折疊又は直曲個所

三九個所

一個所

本工事は大正十一年度から着手し、既に長崎市地域内の一部は竣功して居る、工事は豫定より少々遅延したが十一年度に屬して居る道路工事は工程三分、十二年度に屬して居る日見峠の隧道工事は着々進捗し工程三分を示して居る。隧道東口取付道から以東矢上村番所橋に至る區間は既に實測を終了して目下設計中である。

此工事が全區間に亘つて完成した隣に幾何の利益があるやを調査して見るのに、現在道路に依る交通物體を標準として貨客の交通量も現在と同様とし最小限度の見込額を以て換算して示すときは大略左の如きものである、

一、乗合自働車一臺一往復

所要時間

使用ガソリン量

賃金

比較

現線 二時間
新線 一時間

二升五合
一升二合

壹圓乘客一往復八人宛
五十錢

即時間節約八時間（一時間十錢の利益として總計八十錢）

賃金差額 四圓

計 四圓八十錢

二、荷馬車一臺一往復

所要時間

賃金